

基幹種雄牛として選抜された「清光勝」 ^{きよみつかつ} の特徴	
【要約】飛騨牛の特徴形質及び種牛性に優れる種雄牛の造成という方針のもと、「花清光」を指定交配牛として造成した「清光勝」は、枝肉重量、バラの厚さ、脂肪交雑、腿脂肪交雑及び腿肉色の改良に貢献することが期待される。	
畜産研究所 飛騨牛研究部	【連絡先】0577-68-2226

【背景・ねらい】

岐阜県では、飛騨牛ブランドを支える能力の高い種雄牛群を造成し、最大 12 頭の基幹種雄牛を選抜利用している。これまでに「安福」の優れた遺伝能力を有する後継種雄牛造成に取り組み、「花清光」「孝隆平」「安俊晴」などの種雄牛を造成してきた。

平成 30 年度からは、飛騨牛の特徴形質及び種牛性に優れる種雄牛の造成という方針のもと、次世代の飛騨牛を担う種雄牛の造成に取り組んだ。

「清光勝」の母「としみ」は県内で繁養される繁殖雌牛の中で産肉能力における育種価評価全般に非常に優れており、「清光勝」はその 7 産目の産子にあたる。

令和 7 年度に飛騨牛改良推進事業専門委員会で基幹種雄牛に選定された「清光勝」について、基幹種雄牛としての利用推進を図るため、産子調査や後代の産肉成績等から特徴を解説する。

【成果の内容・特徴】

- 1 「清光勝」の血統は、父が「花清光」、母方祖父が「利優福」、母方曾祖父が「白清 85 の 3」である。
- 2 令和 2 年度に（公社）全国和牛登録協会が定める種雄牛産肉能力検定（直接検定法）で検定した結果、増体量は 1.43kg/日、終了時体高は 127.4cm である。
（令和 2 年度全国平均：増体量 1.14kg/日、終了時体高 125.7cm）
- 3 令和 6・7 年度における「清光勝」の現場後代検定調査牛 19 頭の枝肉成績を表 1 に示した。
全 19 頭の枝肉成績の平均値は、枝肉重量 466.3kg、ロース芯面積 68.2cm²、バラの厚さ 9.0cm、皮下脂肪の厚さ 2.2cm、歩留基準値 76.5%、BMS No. 10.7 であった。
- 4 令和 5・6 年度において、「清光勝」の産子 21 頭（3～7 ヶ月齢時）の生育状況を調査し、（公社）全国和牛登録協会が定める外貌記載法審査基準に準じた 5 段階で評価した結果、発育及び資質に優れていた（図 1）。
- 5 産肉能力の推定育種価については、枝肉重量、バラの厚さ、脂肪交雑、腿脂肪交雑^{※1}及び腿肉色^{※2}に優れている（図 2）。

※1（公社）日本食肉格付協会の牛脂肪交雑基準に基づき、12 段階で半膜様筋断面を流通関係者が評価した評価値

※2（公社）日本食肉格付協会の牛肉色基準に基づき、7 段階で半膜様筋断面を流通関係者が評価した評価値

【成果の活用・留意点】

- 1 種牛性については、発育及び資質の改良が期待できる。
- 2 産肉能力については、枝肉重量、バラの厚さ、脂肪交雑、腿脂肪交雑及び腿肉色の改良が期待できる。
- 3 前軀幅及び腿の厚さに欠ける産子が散見されたため、前軀及び後軀の充実した繁殖雌牛への交配が望ましい。

【具体的データ】

表 1 「清光勝」の現場後代検定調査牛 19 頭の産肉成績

No.	性別	母牛			産肉成績								
		一代祖	二代祖	三代祖	出荷月齢 (ヶ月)	枝肉 格付	枝肉重量 (kg)	ロース芯面積 (cm ²)	ばら厚 (cm)	皮下脂肪厚 (cm)	歩留基準値 (%)	BMS No.	BCS No.
1	去勢	美津照重	広景福	白清85の3	28.6	A5	506.6	91	7.4	1.8	78.2	12	3
2	去勢	恵茂勝	勝忠平	金幸	27.7	A5	483.7	54	8.6	3.0	73.4	10	4
3	去勢	好平茂	百合茂	勝忠平	28.1	A4	584.6	76	10.8	3.4	76.2	7	3
4	去勢	美津照重	白清85の3	平茂勝	27.9	A5	577.3	68	11.2	2.0	76.7	10	4
5	去勢	美津照重	安茂勝	第一花国	27.1	A5	433.3	60	8.2	2.6	75.0	12	4
6	去勢	花福桜	飛驒白清	糸福(岐阜)	27.8	A5	465.5	58	10.3	1.5	76.7	11	4
7	去勢	花清国	白清85の3	第1花国	28.4	A5	438.8	52	9.2	2.0	75.0	11	3
8	去勢	勝忠平	安福(岐阜)	糸姫	27.5	A5	497.4	66	9.9	2.0	76.6	9	4
9	去勢	孝隆平	安福久	忠富士	28.1	A5	446.3	66	7.2	2.2	75.2	10	4
10	去勢	美国桜	百合茂	安福久	27.0	A5	509.0	87	10.3	1.7	79.7	12	3
11	去勢	花清勝	広景福	北国7の8	28.3	A5	474.4	57	8.6	1.9	74.9	8	3
12	去勢	花福桜	美穂国	勝平正	26.4	A5	514.6	95	10.0	1.5	80.6	11	4
13	去勢	義美福	勝平正	安平	29.0	A5	480.3	69	9.6	1.8	77.1	11	4
14	雌	福乃百合	茂重安福	飛驒白清	30.3	A5	393.8	64	7.4	2.3	75.7	12	4
15	雌	花福桜	白清85の3	忠富士	28.4	A5	447.6	72	8.7	2.1	77.1	11	3
16	雌	花清勝	勝忠平	福桜	27.5	A5	321.1	56	7.6	2.1	75.9	12	3
17	雌	花福桜	安福久	平茂勝	28.6	A5	406.6	68	9.7	2.7	77.1	12	4
18	雌	藤健翔	勝忠平	安福久	27.1	A5	457.4	59	8.2	2.5	74.6	10	4
19	雌	白清85の3	花清国	勝忠平	26.7	A5	421.6	77	7.2	1.8	77.3	12	3
				平均値	27.9	—	466.3	68.2	9.0	2.2	76.5	10.7	3.6
				去勢平均	27.8	—	493.2	69.2	9.3	2.1	76.6	10.3	3.6
				めす平均	28.1	—	408.0	66.0	8.1	2.3	76.3	11.5	3.5

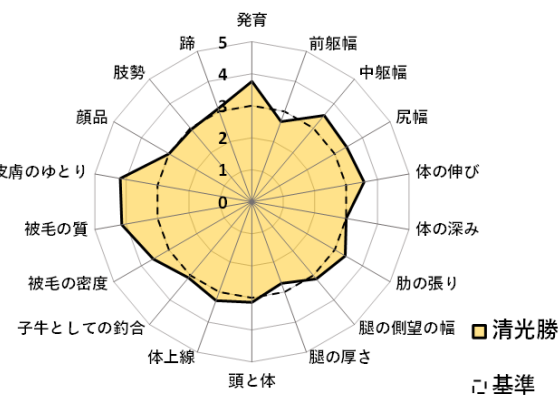


図 1 「清光勝」の産子 21 頭の調査結果
(数値：評価値) ※「3」を標準とし、
数値が高いほど良い

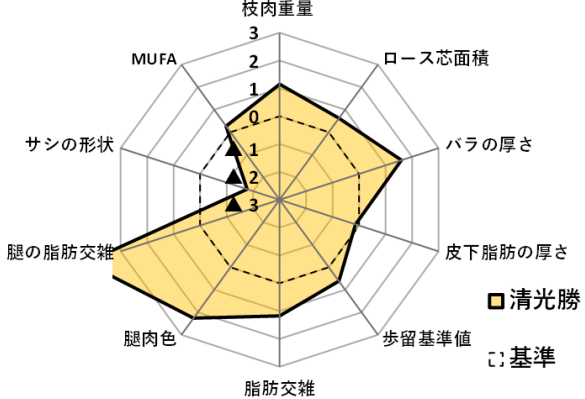


図 2 「清光勝」の産肉能力の推定育種価
(数値：σ 値) ※図は外に向くほど良い
(肉色の育種価は未判明)

研究課題名：令和 7 年度飛驒牛産肉能力検定事業
担当者：小澤昌起